

令和8年度トルコ共和国生徒派遣事業

～現地の高校生との交流を通して、異文化への理解を深める～

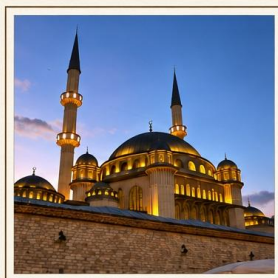
派遣団は、現地時間9月23日午前5時過ぎにイスタンブール空港へ到着し、現地関係者の皆様と無事に合流しました。

初日は、雨が降り、気温も20度を下回る肌寒い一日となりましたが、市内を視察し、トルコの街並みや文化に触れました。

2日目は、イスタンブール市内の高校を訪れ、現地の高校生と交流しました。生徒たちはこれまで準備してきた内容を熱心に発表するとともに、相手の発表にも真剣に耳を傾け、互いを知る貴重な機会となりました。交流の中で、トルコの生徒たちからのリクエストに応え、日本の生徒がソーラン節に合わせて即興で踊る場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

3日目は、アンカラの高校を訪問し、生徒同士で交流した後、それぞれの家庭でホームステイを行う予定です。学校での交流に加え、家庭での暮らしを通して、現地の文化や習慣に触れる機会となります。

言葉や文化の違いを越えて出会い、伝え合う経験を、生徒一人ひとりの学びにつなげていきます。時差や長時間の移動、徒歩での活動による疲れにも気を配りながら、引き続き健康と安全を第一に活動を進めてまいります。



令和8年度トルコ共和国生徒派遣事業

～現地の高校生との交流を通して、異文化への理解を深める～ Vol. 2

3日目は、土日基金文化センター、JICA トルコ事務所及びビュユック高校を訪問しました。その後、ホストファミリーと合流し、各家庭でのホームステイが始まりました。4日目は、午前中をそれぞれのホストファミリーと過ごし、午後は土日基金文化センターでの交流活動に参加しました。本日は、現地の高校生との交流会の後、在トルコ日本国大使館の大使と懇談する予定です。

トルコでの滞在も本日が最終日となり、いよいよ帰国の時が近づいてきました。残された時間も生徒たちが安心して交流を深められるよう、一人ひとりの体調に気を配るとともに、安全の確認を徹底し、最後まで充実した活動となるよう支えてまいります。

